

学部編



各種資格に関する教育課程表

1 学校図書館司書教諭資格について

児童生徒が「生きる力」を身につけ、豊かな人間性を育てるには、優れた司書教諭の指導のもとに学校図書館を活用する学習が求められています。このため2003年4月1日から、標準規模の学校には司書教諭を必ず配置することとなりました。(1997.6.11制定「学校図書館法の一部を改正する法律」第5条附則2項)

司書教諭の資格を取得するためには、同法第3条により、次の表にしたがって各科目を履修することが必要です。受講の要件は、教諭の免許状を取得する予定で大学に2年以上在学し、62単位以上を修得していることです。

科 目 (法令上の科目)	相 当 科 目 (大学における開講科目)	開講基準年次および単位数				備考
		1年	2年	3年	4年	
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館			2	全科目必修	
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成			2		
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館			2		
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性			2		
情報メディアの活用	情報メディアの活用			2		

2 司書資格について

現代人は情報の洪水の中で生活していると言われるます。司書の仕事は、図書館の専門的職員として、こうした情報環境の中で、人と必要な情報を結びつけ、また文化の再生産に寄与することでもあります。

司書資格を取得するには、「図書館法施行規則第4条」に基づき、次の表にしたがって各科目の単位を修得することが必要です。

科目の内容は公共図書館を中心としています。情報環境は激しく変化していきますが、公共図書館をよく理解することで基本能力が身につく、館種を越え、多様な情報メディアにも対応できると考えます。

群	科目 (法令上の科目)	単位	相当科目 (大学における開講科目)	開講基準年次及び単位数				備考
				1年	2年	3年	4年	
必修科目	生涯学習概論	1	生涯学習論		2			
	図書館概論	2	図書館概論	2				
	図書館経営論	1	図書館経営論			1		
	図書館サービス論	2	図書館サービス論		2			
	情報サービス概説	2	情報サービス概論		2			
	レファレンスサービス演習	1	レファレンスサービス演習		1			
	情報検索演習	1	情報検索演習				1	
	図書館資料論	2	図書館資料論	2				
	専門資料論	1	専門資料論				1	
	資料組織概説	2	資料組織概論				2	
	資料組織演習	2	資料組織演習				2	
児童サービス論	1	児童サービス論				1		
選択必修科目	図書及び図書館史	2系列2単位以上	図書館および図書館史	1				
	資料特論		資料特論	1				
	コミュニケーション論		コミュニケーション論		2			
	情報機器論		コンピュータ操作技法A	2				
			コンピュータ操作技法B	2				
図書館特論	図書館特論				1			

注意

選択必修科目には、左欄（法令上の科目）から2つ以上が必要です。また、「コンピュータ操作技法A」と、「コンピュータ操作技法B」以外のコンピュータ関連科目を、「情報機器論（法令上の科目）」としてみなすことはできませんので、注意してください。

※課程履修費について

本課程を履修するには学納金とは別に課程費が必要です。課程費は2,000円(4年次)です。徴収方法は学納金の口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内します。

3 博物館学芸員資格について

博物館、美術館、民俗資料館などには専門職員として学芸員を置くことが義務づけられています（博物館法第4条第3項）。学芸員は博物館において資料の収集、保管、展示や調査・研究などの専門的な仕事に従事します。

学芸員の資格を取得するためには、「学士の学位を有し、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得する」（博物館法第5条第1項）ことが必要です。資格取得については次の表にしたがって科目を履修してください。

「博物館実習(2)」は4年次の、主として夏休みの期間中に1週間行われます。実習先は原則的には大学の方で依頼・確定しますが、実習可能な館は少なく、また実習自体も大変難しく厳しいものです。したがって、博物館実習に参加する前に各自においても、相応の学習が望まれます。なんとなく資格をと思っている学生では実習できません。また、実習中に学生側の責任で問題が生じた場合には実習を中止させることがあります。

いずれにしても事前に十分な準備が欠かせません。

どうして学芸員になりたいのか、どういう学芸員になりたいのか、ということについて明確な目的意識をもち、しっかりした心構えで望むことが必要です。

	科 目 (法令上の科目)	単 位	相 当 科 目 (大学における開講科目)	開講基準年次および単位数				備考
				1年	2年	3年	4年	
必修科目	生涯学習概論	1	生涯学習論		2			
	博物館学 (博物館概論・博物館経営論・博物館資料論・博物館情報論)	6	博物館学(1)		2			
			博物館学(2)		2			
			博物館学(3)			2		
	博物館実習	3	博物館実習(1)			2		
			博物館実習(2)				2	
視聴覚教育メディア論	1	教育メディア論			2			
教育学概論	1	教育制度の研究		2				
選択必修科目	文化史	2 系列 8 単位 以上	日本文化史(1)	2				
			日本文化史(2)	2				
			比較文化論A(1)			2		
			比較文化論A(2)			2		
			比較文化論B(1)			2		
			比較文化論B(2)			2		
			古典芸術論(1)		2			
			古典芸術論(2)		2			
	美術史		日本美術史(1)		2			
			日本美術史(2)		2			
			西洋美術史A		2			
			西洋美術史B		2			
	民俗学		日本民俗学(1)		2			
			日本民俗学(2)		2			

※課程履修費について

本課程を履修するには学納金とは別に課程費が必要です。課程費は3年次（後期）3,000円、4年次（前期）17,000円です。徴収方法は学納金の口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内します。